1. 評価結果概要表

［認知症対応型共同生活介護用］

作成日　平成 ２０年９月２２日

【評価実施概要】

事業所番号	0770302552
法人名	株式会社　エコ
事業所名	グループホーム　こいのさと
所在地	〒963-8051　福島県郡山市富久町字八山田字前林５ （電　話）０２４－９３５－３７５１

評価機関名	ＮＰＯ法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043　福島県福島市中町4-20　みんゆうビル302号室		
訪問調査日	平成20年8月29日	評価確定日	平成20年10月10日

【情報提供票より】（ 平成 20 年　7 月　1 日事業所記入）

（１）組織概要

開設年月日	平成 18 年 1 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤　15 人,非常勤　1 人,常勤換算	15 人

（２）建物概要

建物構造	木造 造り
	2 階建ての　1 ～　2 階部分

（３）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	40,000 円		その他の経費(月額)	4-10月　18,000 11-3月　21,000	円
敷　　金	有（　　円） ● 無				
保証金の有無 (入居一時金含む)	● 有(　19,950 円) 無		有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食		円
	夕食	円	おやつ		円
	または1日当たり　1,200 円				

（４）利用者の概要

利用者人数	18 名		男性　7 名	女性	11 名
要介護１	5 名		要介護２	8	名
要介護３	4 名		要介護４	1	名
要介護５	0 名		要支援２	0	名
年齢	平均	88.7 歳	最低　78 歳	最高	99 歳

（５）協力医療機関

協力医療機関名	佐々木医院　　八幡歯科医院

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

幹線の国道より市道に入った住宅地の中にあり、一見、一般の集合住宅のようなグループホームである。地域密着型サービスの理念を管理者をはじめ職員全員で理解し、地域の行事への参加、地域貢献として専門学校の実習生の受入れ、ボランティアの定期的訪問の受入れ、また、運営推進会議を活用し防災訓練の呼びかけを行なうなど実践に向けて日々取り組んでいる。運営に対する家族の意見等についても真摯に受け止め、改善に向けて努力していることが苦情受付簿の中からうかがわれる。介護計画については、利用者や家族の意見を十分取り入れ計画に反映している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4）
	前回の改善事項である災害対策については、運営推進会議での協力呼びかけや夜間想定の訓練の実施も予定している。また、災害用備蓄も３日分準備してある。
	自己評価については、全員参加で行なっている。取り組みの事実については実施している内容を率直に記載することにより、改善すべき事項がより明確になると思われる。運営者も評価内容を理解し、サービスの質の向上に反映させるべき努めていることがうかがわれる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5）
	運営推進会議は定期的に開催している。会議の議題が画一的で事業所からの報告事項が主となっていることから、今後は委員が主体的に会議運営に関わり、双方向での会議となるよう検討しているところである。外部評価結果については会議で報告したことにより、防災についての地域住民の理解が得られたところである。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）
	定期的に利用者の様子や行事の写真等を手紙を添えて報告している。金銭管理も適正に行なわれており、領収書を添付し確認を得ている。家族等の面会者も多く、その際には情報を提供したり要望等を聞き、運営に反映させるよう努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）
	町内会に加入し、町内会主催のゲートボール大会を見物したり、お祭りに参加したり、事業所の新年会に地域の人たちを招待したり、地域との交流を積極的に行なっている。また、毎月１回日本舞踊のボランティアの受け入れや、専門学校の実習生を受け入れるなど地域貢献を行なうことにより連携を深めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ．理念に基づく運営					
1．理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの理念は十分理解されており、事業所独自の理念を作り上げている。「このまちで」「ともにいきよう」の表現が地域密着型の理念として表現されている。しかし、グループホームの表示は道路側からは見えない。		今後、理念の中で地域交流を表現されれば一層地域密着型に相応しいものになると思われる。また、地域住民や外来者によくわかる形の看板もしくは大きめの表札などの掲示がほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員、外来者ともに日常的に目に触れるところに掲示してあり、理念を意識したサービスに努めている。		
2．地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のゲートボール競技やお祭りに参加しており、新年会は事業所側が主催して地域に回覧板をまわし、参加者を募って開催している。また、日本舞踊のボランティアが月に一度訪れて利用者と交流している。		
3．理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が参加し自己評価に当たり、管理者が評価の総括をしている。また、運営者も評価内容を把握し外部評価の意義についても十分理解し、改善に努めている。		自己評価の取り組みの事実を具体的に記載することにより、改善すべき内容が一層見えてくると思われる。

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的に実施している。議題は報告事項と行事予定が主な議題である。議題に対する双方向の意見交換は少ないようである。一方で会議の初めに講演の時間をとり、専門家からの話を聞くなど、内容に変化をもたせる努力も見受けられる。		事業所主導の会議運営となっているため、委員からの意見やケアサービスに対する情報提供など多角的視点からの意見交換を工夫されるよう期待したい。
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	担当の職員から毎月手紙や写真で近況を報告し、出納帳のコピーとレシートを送付している。毎月発行する広報紙で事業所の行事報告や予告を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見や要望に対しては、スタッフ全体で対応しサービスに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	直近の1年間における管理者の交代はない。職員は法人内の異動であり、その都度利用者に戸惑いや混乱が起きないように綿密な連携体制で対処している。		

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
５．人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内ではブロック別に研修を行うことを検討している。なお、研修計画については、各事業所に研修予算を配分し、自主的な研修計画による職員研修を検討中とのことで期待できる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内のグループホームとの交流や情報交換は行なっているが、同一法人以外の他のグループホームとの交流等は行っていない。	○	同一地域内にはグループホームが多く存在しているので、他の同業者への視察研修や実践的な交流を行なうことにより、サービスの質の向上に役立つものと思われる。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 **１．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応（小規模多機能居宅介護事業所のみ記入）**					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している（小規模多機能居宅介護）			
２．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴・趣味などを把握し、日常の生活状況から何を求めているかや今できることを探りながら、よりよい関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
１．一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日常生活から思いや意向を感じ取り、また、家族からの情報を取り入れながら、意向の把握に努めている。センター方式による利用者の暮らしの情報は、入居直後に活用しているのみなので、課題検討の際の材料として定期的に継続して活用することとしている。		
２．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を取り入れた計画となっており、同意を得て実施している。利用者や家族の希望を踏まえてカンファレンスを行い職員全員で話し合い個別・具体的な計画作成に努めている。		日々の介護記録は、詳細に記録されてあるが、利用者の「訴え」に対して、どのような対応を行なったのかの記載がないケースが多くみられた。利用者や家族にもサービス対応が理解されることが望ましいと思われる。また、緊急性の高いケアの優先度に対する理解を図ってほしい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間内に見直しを行なっており、利用者の状態変化に対しては、家族や関係者と話合い、適時見直しを行なっている。モニタリングシートを用い、ケース会議の中で検討しながら現状に即した計画の見直しを行なっている。		
３．多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている（小規模多機能居宅介護）			

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携を密にし、利用契約に基づいて職員による通院介助を基本的に行なっている。今後は家族同行の受診を基本に行うよう検討している。往診による受診も行なっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	８月より医療連携加算を取得したことにより、重度化した場合の看取りの指針や看取り介護計画書や急変時の対応等具体的な対応指針を作成し、利用者の同意を得ている。個別的にも利用者、家族、主治医との話合いを行い、急変時の対応について方針の統一を図っている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **1. その人らしい暮らしの支援** **(1)一人ひとりの尊重**					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを尊重し誇りを損ねないよう言葉遣いにも十分留意したり、個人情報保護に関する法令順守に努めている。職員は誓約書を提出している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者がゆったりと自由に過ごせるよう、身体や気分に配慮し、買い物や散歩など声かけをし、希望に添って支援している。		

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえ、盛付け、後片付けなど利用者の力量に合わせて行なっている。職員も利用者と一緒に食事を楽しみながら、さり気なく介助している。法人の管理栄養士による献立を参考にしているが、比較的シンプルなメニューである。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間帯は基本的には決めているが、利用者の様子を見ながら、希望や状況に合わせて、支援している。利用者からの希望もあり同性介助で入浴支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている（認知症対応型共同生活介護）	調理や後片づけ畑仕事など利用者の得意分野や好み、力量を把握し、場作りをしながら支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している（認知症対応型共同生活介護）	食材の買い物や外食、早朝散歩、ピクニック等出来るだけ外出の機会を設けるよう努め実施している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員がさり気なく見守り一緒に行動するなどして対応している。利用者は落ち着いて過ごしており、日中は鍵はかけていない。		

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 　火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	管理者が防火管理者となり、消防署の協力を得ながら、３ヶ月に１回定期的に避難訓練を行なっている。運営推進会議を通じ、地域の人たちの協力と理解を得るようお願いしている。夜間想定の訓練を実施することとしている。食糧や水等の備蓄もある。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 　食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活チェック表により一人ひとりの食事量や水分量を把握し、職員間で情報を共有し、利用者の状況に応じて支援方法を工夫している。法人の管理栄養士の献立を基にし、栄養管理を行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 　共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光、温度、話し声などは快適であり、認知度の高い利用者が少ないせいかリビングでは新聞や雑誌を読んだり、談笑する場面が見られた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 　居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の好みに応じた家具や飾り物があって、おやつを食べる前に仏壇へ供える利用者も見られた。		

※ ▨ は、重点項目。

３　評価結果に対する事業所の意見

事　業　所　名　　グループホームこいのさと

記入担当者名　　菅野　雪絵

評価結果に対する事業所の意見
特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目№を記入してから内容を記入してください。